

# 平成26年度練馬区在宅療養推進事業 コーディネート能力向上研修（第二回）アンケート調査結果

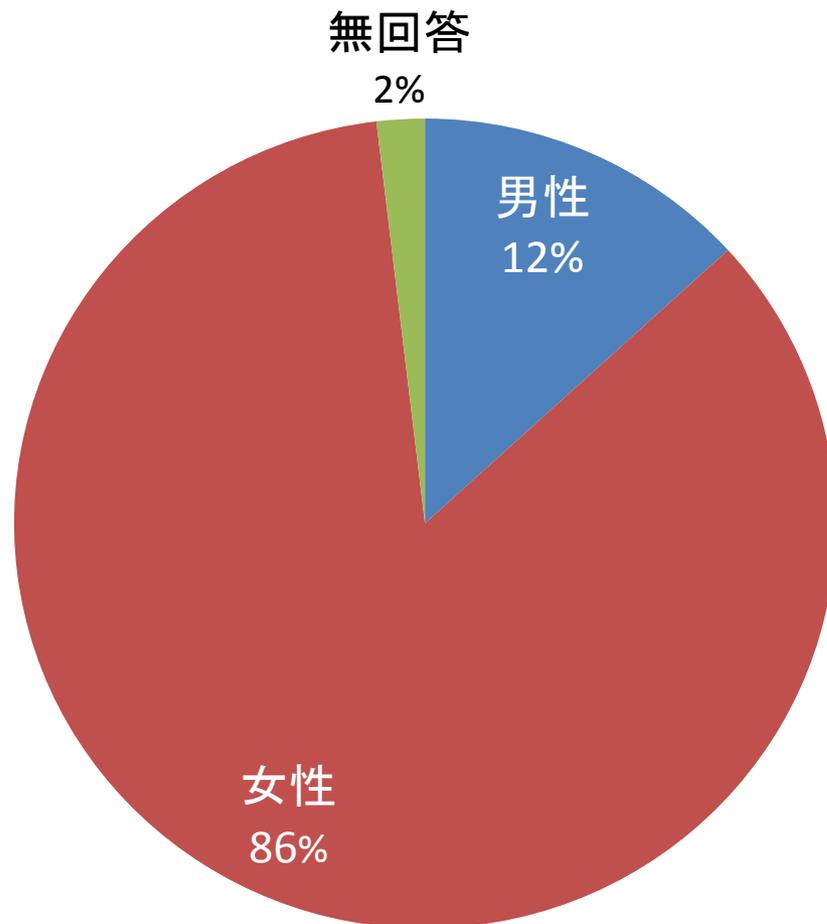
- 1 実施日：平成26年12月22日（月） 午後6時30分～午後9時00分
- 2 場所：Coconeriホール（練馬区立区民・産業プラザCoconeri 3階）
- 3 参加人数：51人
- 4 アンケート回答者数：50人

# 問1: あなたの性別をお聞かせください。

参加者の約85%が女性である。

性別	人数
男性	6
女性	43
無回答	1
計	50人

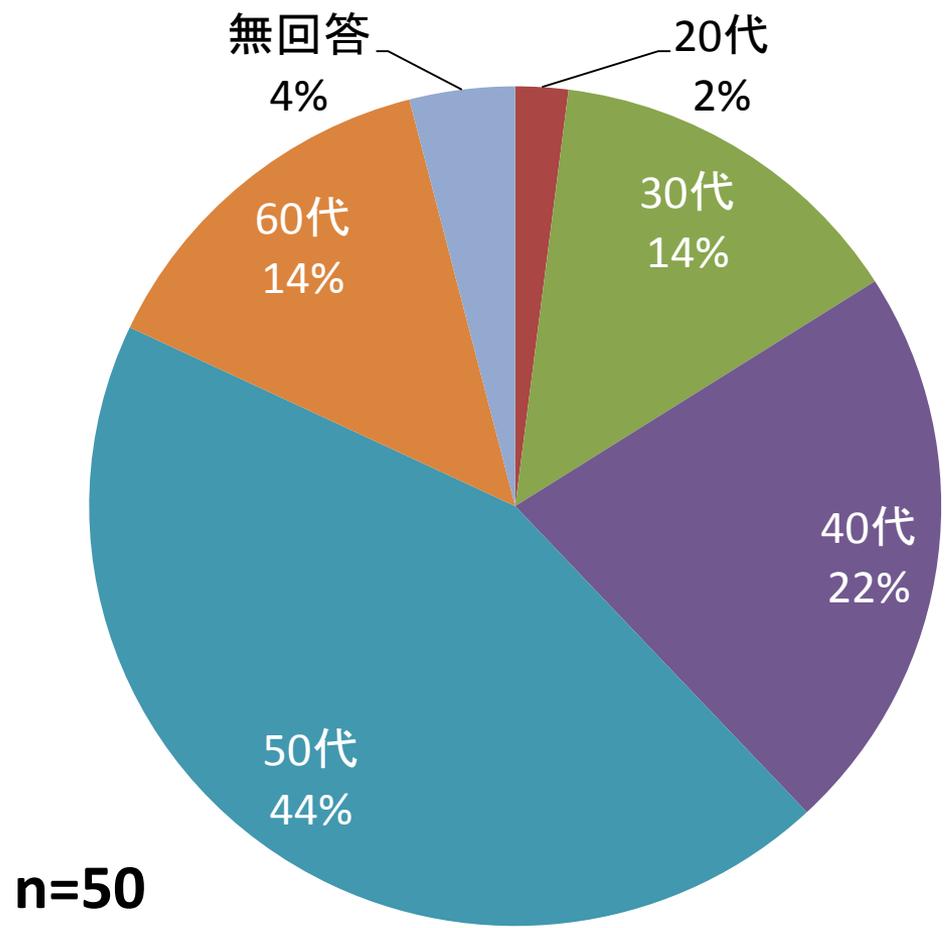
n=50



## 問2: あなたの年齢をお聞かせください。

参加者の約50%が50代である。

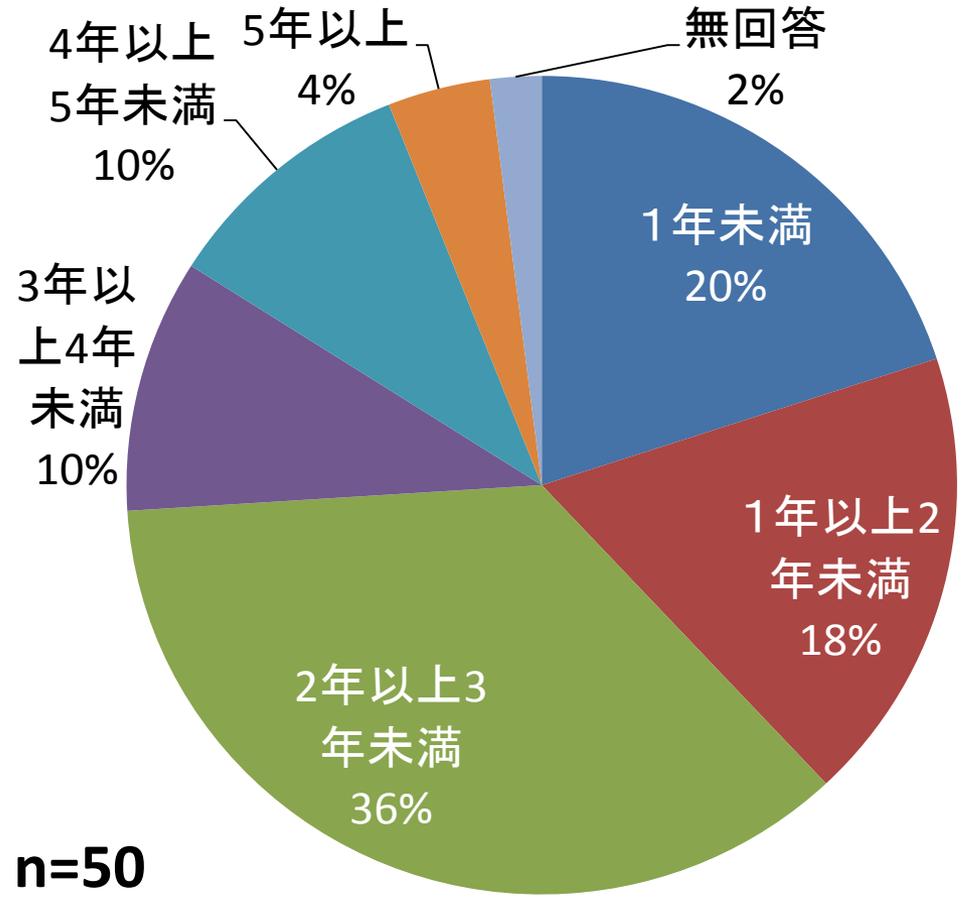
年代	人数
10代	0
20代	1
30代	7
40代	11
50代	22
60代	7
無回答	2



### 問3: 介護支援専門員としての実務経験年数をお聞かせください。

参加者の中で、経験年数が2年以上3年未満の方が最も多い。

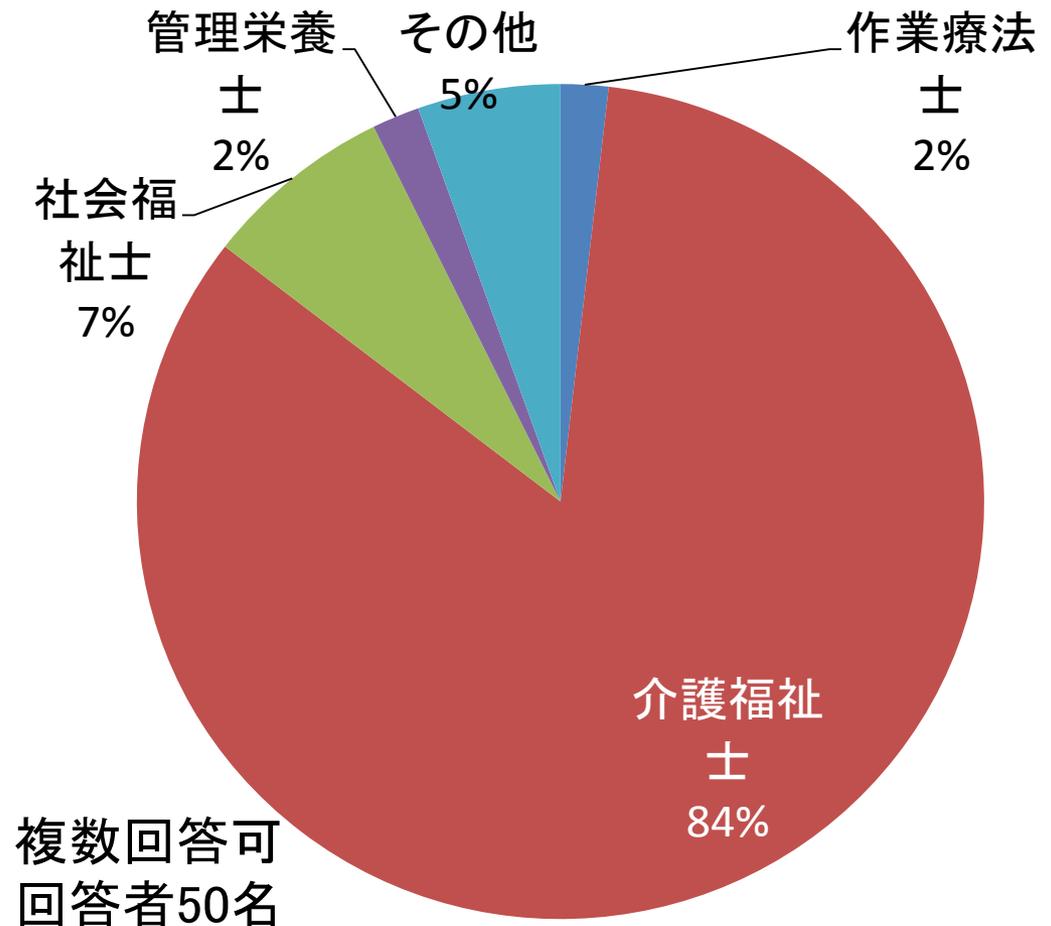
年数	人数
1年未満	9
1年以上2年未満	11
2年以上3年未満	18
3年以上4年未満	5
4年以上5年未満	3
5年以上	5
無回答	2



## 問4: 介護支援専門員以外にお持ちの資格をお聞かせください。

参加者の90%以上が介護福祉士の資格をお持ちである。

職業	人数
作業療法士	1
介護福祉士	46
社会福祉士	4
管理栄養士	1
その他	3



問4: 介護支援専門員以外にお持ちの資格をお聞かせください。(その他)

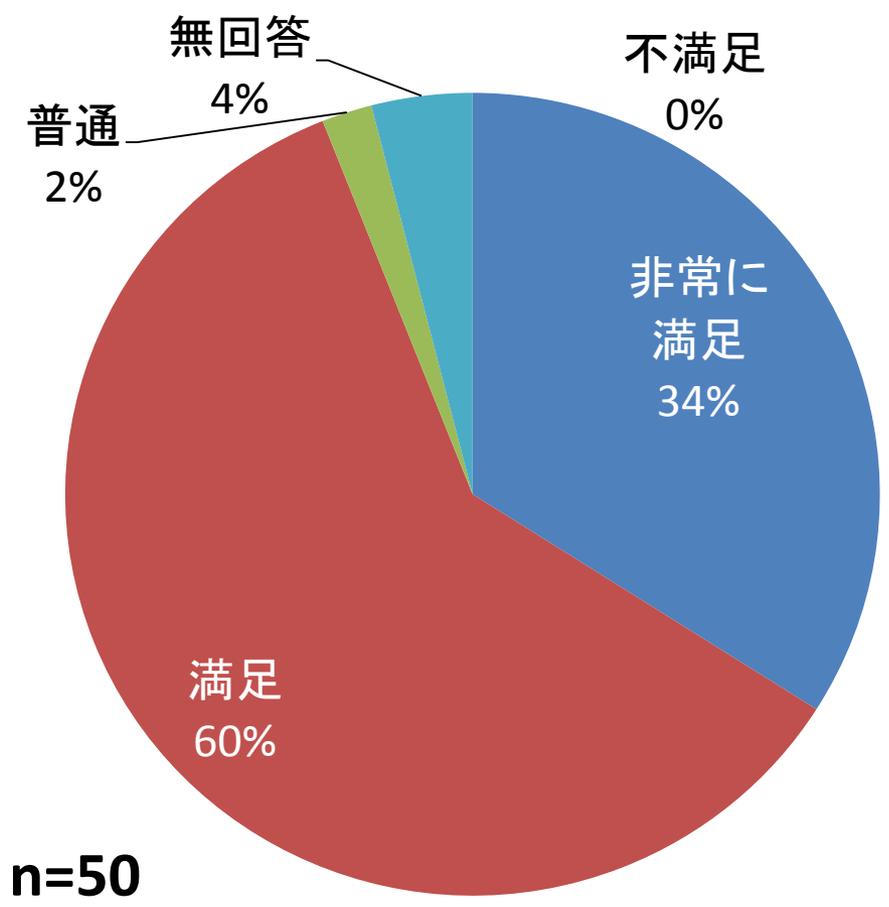
(その他の内訳)

- 社会福祉主事
- 保育士
- ファイナンシャルプランナー2級
- ヘルパー2級

# 問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。

参加者の約95%が満足、もしくは非常に満足と回答した。

満足度	人数
非常に満足	17
満足	30
普通	1
不満足	0
無回答	2



## 問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。(選択理由)

### 【「非常に満足」を選択した理由】

- 私にも上手にできそうな気がしてきた。
- 医師の話がとても印象的です。私も、自分の仕事について反省した。
- 医療職側から見たケアマネージャーのいい点、悪い点を知ることができ、今後の参考になると思った。
- ケアプランの作成を1年しかしていないので、非常に参考になった。
- 講義が楽しかった。
- 服薬が正確にできない利用者についてとても困っていたのでまさにタイムリーな研修だった。
- 主治医と連携をとり、利用者の出口戦略を教えいただいた点。
- 永沼さんの話は、ケアマネージャーの立場としての具体的な話が聞けて参考になった。後藤先生は往診医の立場からの本音がストレートに伺え非常に参考になった。
- 自分が苦手と感じている部分(医療職との連携)の対応の仕方を教えて頂き非常に勉強になった。
- 日常療養時に関わる様々な制度、サービスを医療、薬剤、介護の面でわかりやすく理解できた。
- 実践的な内容だった。
- 医療関係者が介護関係者との関係を持ちたがっていることが分かった。担当者会議の必要性もよく分かった。
- 医療との関わりを例を挙げて分かりやすく講義していただいた。
- 多角的な意見が聞けてよかった。

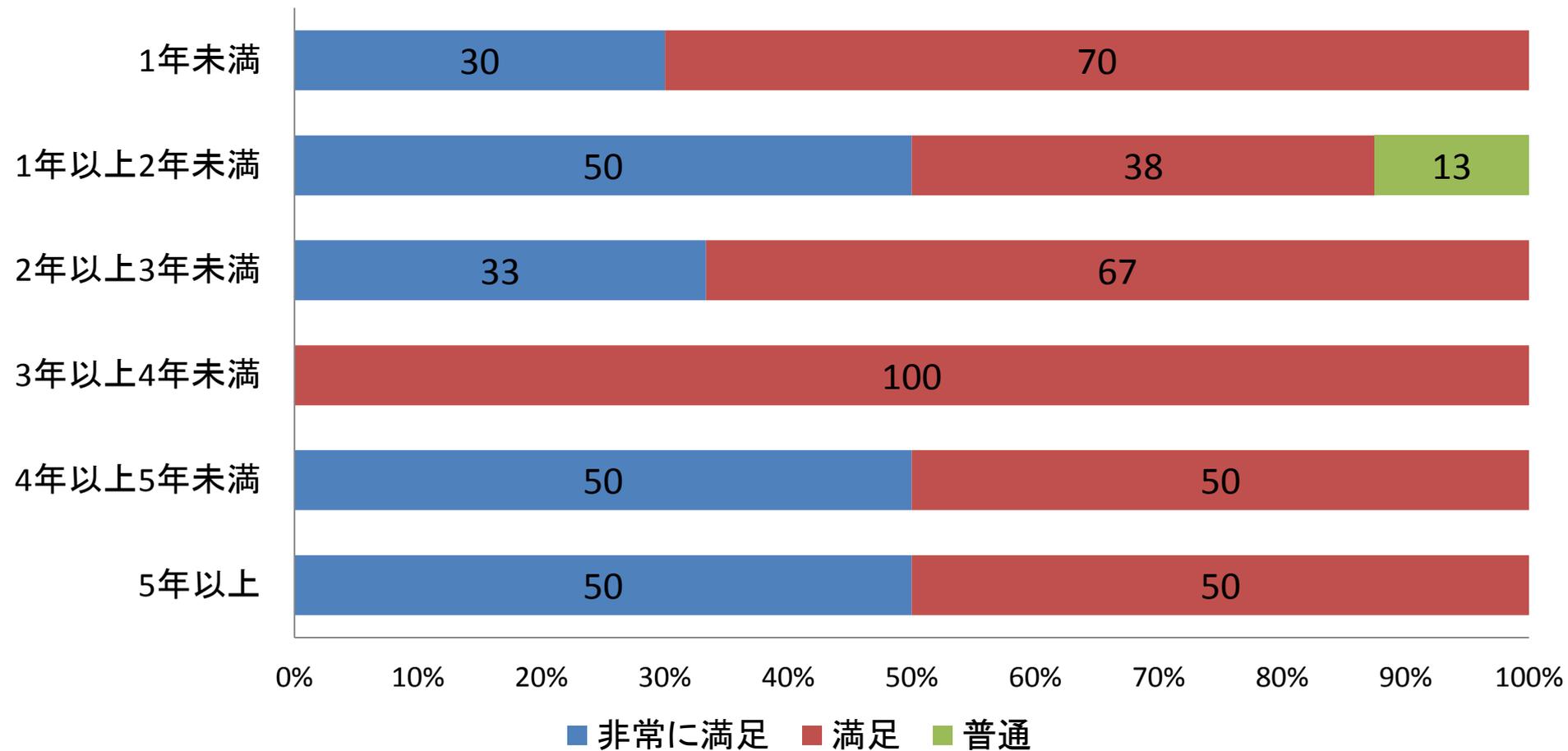
## 問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。(選択理由)

### 【「満足を選択した理由」】

- 薬局の位置づけの重要性が理解できた。
- パワーポイントの資料がわかりやすかった。
- 具体的な主治医との関わり方が分かった。
- 調剤薬局、訪問診療、訪問看護側の意見がある程度理解できた。
- サービス担当者会議の下準備や進め方などのコツがわかった。
- 「医師、看護師、薬剤師が何を知りたいのか」について聞くことができた。
- 訪問薬剤師の話を聞いてよかった。
- 訪問介護の話も聞きたかった。
- 第一回目に学習したことを再確認できた。

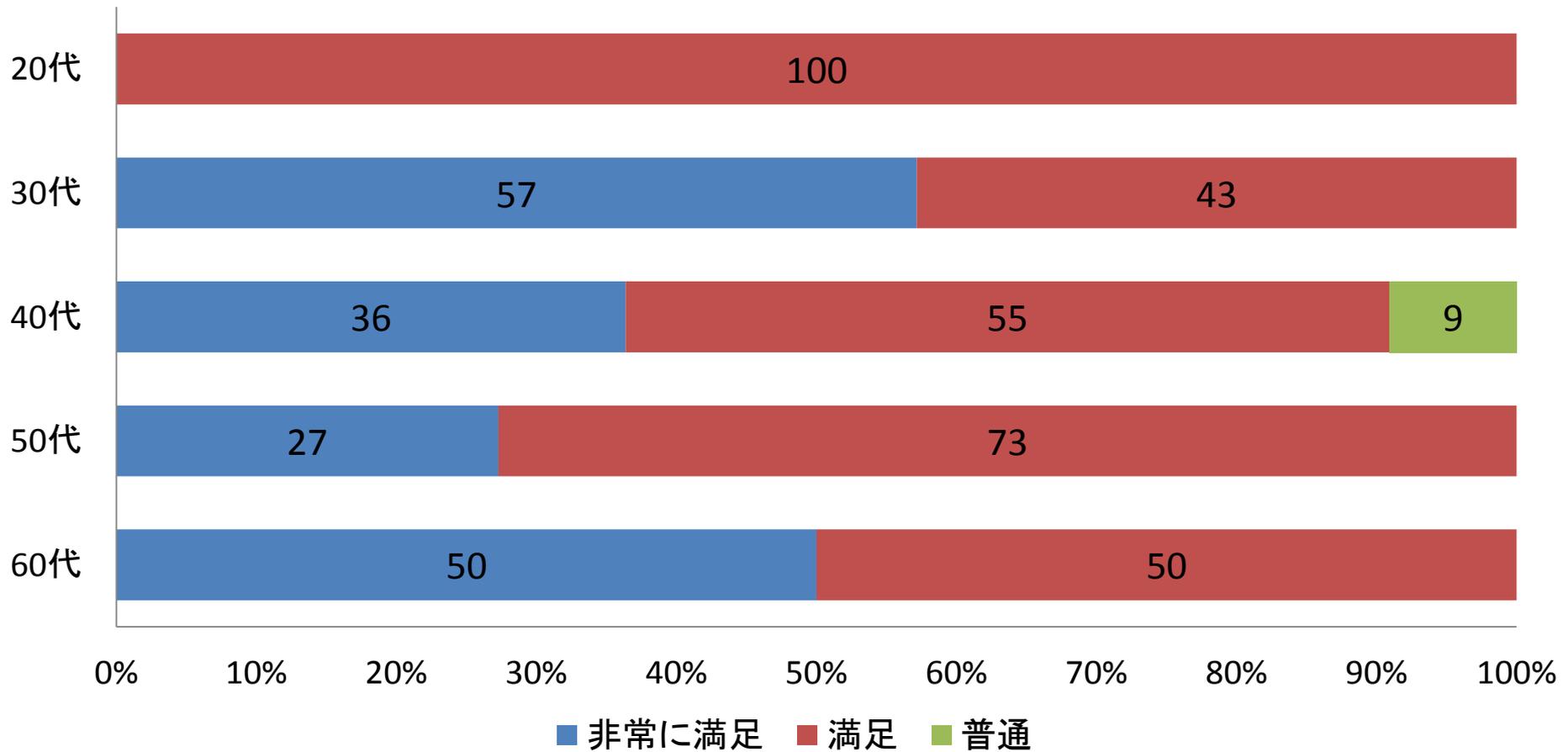
# 問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。 ※経験年数別

経験年数が長いほど満足度がゆるやかに上昇する。



# 問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。 ※年齢別

年齢と満足度には明確な相関は無い。

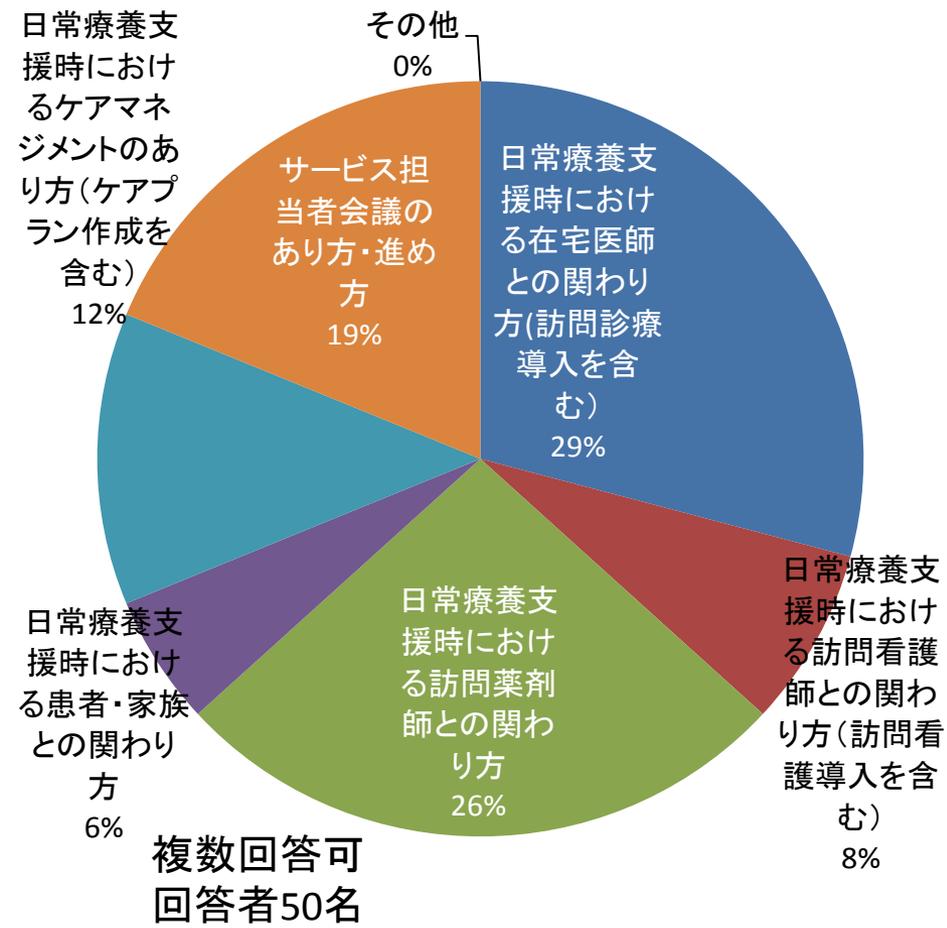




# 問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

参加者の約80%が、日常療養支援時における在宅医師との関わり方が実務上で特に役立つと回答した。

評価	人数
日常療養支援時における在宅医師との関わり方 (訪問診療導入を含む)	42
日常療養支援時における訪問看護師との関わり方 (訪問看護導入を含む)	11
日常療養支援時における訪問薬剤師との関わり方	38
日常療養支援時における患者・家族との関わり方	8
日常療養支援時におけるケアマネジメントのあり方 (ケアプラン作成を含む)	18
サービス担当者会議のあり方・進め方	27
その他	0
特になし	0



## 問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

### 【回答理由1(日常療養支援時における在宅医師との関わり方(訪問診療導入含む)について)】

- 在宅医師や薬剤師と上手く付き合う方法、上手な関わり方については、実務に役に立つと感じた。
- 不明な点が理解できました。
- 質問時間で不明点を理解することができた。
- 往診日に合わせて訪問すること等については、すぐに役立つと思う。担当者会議の進め方についても、事前にケアマネジャーが行っておくべきことがよく分かった。今後役立てようと思う。
- 気軽に相談できることがわかった。今後なんでも話してみることにする。
- 今まで考えになかったことが知れたので、考え方の視野が広がった。
- 医師とどのように関わっていったらよいか悩んでいたので今回の研修は非常に役に立つ。
- 診療の着地点の考え方が参考になった。
- 医師がケアマネジャーに求めていることや、良い・悪いケアマネジャーの仕事の仕方が具体的に分かりよかった。
- 往診医との関わり方に関する講義非常には分かりやすかった。どんどん関わっていきたいという気持ちになった。
- 在宅医師の本音やほしい情報が直接聞けたことは有意義であった。

## 問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

### 【回答理由2(日常療養支援時における訪問看護師との関わり方(訪問看護導入含む)について)】

- サービス担当者会議の事前準備やケアプランに入れるべき内容について、これまではただ漠然と考えていた。今後はもっと具体的に業務が行えるだろうと思う。
- サービス担当者会議内の事前の準備、医師への具体的な質問内容、薬の管理、問題点等参考になった。
- 担当者会議の必要性がよくわからず、今までは、他職種とただ集まって話をするだけだった。今後は、利用者様のために何ができるかを考えながら仕事をしていきたい。
- サービス担当者会議の事前準備に関する講義は非常に参考になった。
- 薬のことは薬剤師さんに相談できることを知った。

## 問7: 今回のテーマに関してさらに学びたい内容(項目)をお聞かせ下さい

### 【回答内容】

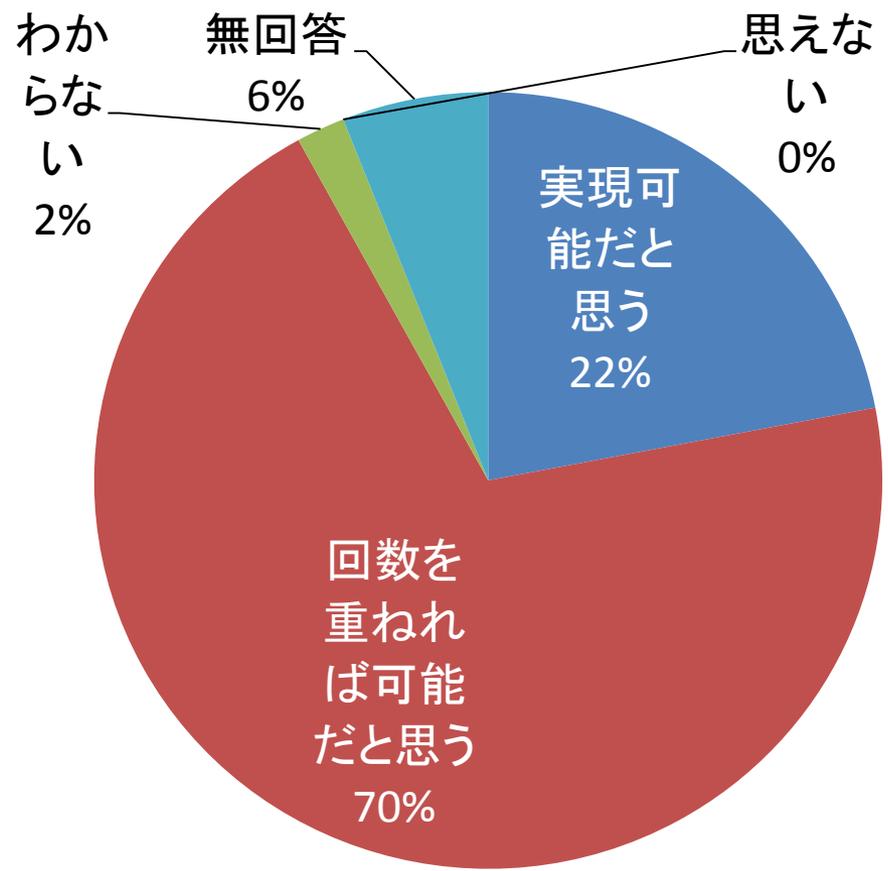
- 医師に聞いていい内容、聞くべきだったこと等について具体的な事例で学びたい。
- 同行受診における診察室内の具体的な行動事例について。
- 病状に応じた具体的な対応について。
- ケアプランにつなげていくための医療の視点からのアセスメントについて。



# 問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

参加者の約70%が、回数を重ねればコーディネーション能力の向上が実現できると回答した。

評価	人数
実現可能だと思う	15
回数を重ねれば可能だと思う	31
わからない	0
思えない	0
無回答	7



n=50

## 問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

### 【「実現は可能だと思う」を選択した理由】

- 第一回目の研修時に入院したばかりのケースに対してどのように対応すべきか分からなかったが、第一回目の研修受講後、実際に入院先に連絡したところ、話を伺うことができた。
- 得られる情報で少しずつ能力は向上できると思う。
- 一回目の研修を受けた後、病院入院中の利用者について、事前に病院に連絡したところ、病棟ナース、MSWとスムーズに情報伝達できた。
- 全ては利用者様のためと考えれば可能だと思う。
- 顔の見える関係からお互いが分かりあえる日が近づくとと思います。

## 問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

### 【「回数を重ねれば可能だと思う」を選択した理由】

- 慣れることだなと感じた。
- 3回だけの研修ではなく、テーマを絞って回数を重ねれば可能だと思う。
- 医師の評判や連携方法(適切な)は、経験や情報収集能力が必要となるため、回数を重ねた方が良いと思う。
- 一度聞いただけでは覚えきれないが、ためになることは多いので回数を重ねれば可能だと思う。
- すぐに向上できるかどうかはわからないが、少しずつ、向上していけると思う。研修に参加しなければ多分コーディネート能力はなかなか向上することは無理かもしれない。
- コーディネートの秘訣は「根回し」が大切ということで、今後「根回し術」を身につけたいと思う。
- 自分自身の知識の向上はもちろんではありますが、信頼関係の構築には回数が必要とも思う。前回より次回とステップアップするしかないと感じる。
- こわがらず、かまえず、主治医に意見を求められるようにしたい。
- 今後は、サービスの実践と照らし合わせながら進めて行ければ能力向上につながると思う。

## 【回答内容】

- 講師のケアプランを参考に見せていただきたい。